

一般質問

(要旨)

第1回定例会では、3月2日、3日、6日の3日間にわたり21人の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



小野寺 克己

Pepper社会貢献PG
を活用したICT教育

問 人間の理解力、判断力
やコミュニケーション
能力など人間力を育てること
が重要。このプログラム
を活用する中で、どのよう
な部分を伸ばしていきたい
とお考えか。

答 育成したい資質・能力
①意図した活動を実現
するための段取りと手順に
より論理的に考える「プロ
グラミング的思考」②プロ
グラミングにより課題を解
決していく「問題解決能力」③
プログラミングを行う際の基
盤となる「発想力」や「創造力」

などの資質・能力向上。
マイナンバーカードの
推進

問 ①マイナンバーカード
申請機能つき証明写真
機に切りかえの要望につ
いて。②若い世代へのアピ
ールは重要であり効果的だ
が市の見解は。③被災者台帳
を作成することについて。

答 ①交付促進の一助とし
て入れかえを行う。②
若い世代に向けたアピール
は重要。市のイベント等に
目を向けて周知に取り組み
③生活再建に向けて必要な
ものと認識。



石川 和広

狛江市公共施設等総合管
理計画について

問 ①計画策定の趣旨につ
いて②費用見込みも示
されているがその対応方策
は③この計画はどのような
位置づけとなっていくのか
④具体的な費用やスケジュール
を見込んだ別途の個別計
画を策定していくのか。

答 ①長期的視点から公共
施設等の総合的な管理
や、効率的で安定したサー
ビス提供のため②総量適正
化、延命化等、多様な手法
を検討③公共施設等の今後
のあり方の方向性を示すも
の④そのように考える。

地域包括ケアシステムの
構築に向けて

問 ①構築に向けての庁内
組織体制は②生活支援
体制整備事業の今後の展開
は③狛江市の地域ケア会議
の特徴は④狛江市認知症初
期集中支援チームの運営の
特徴は⑤「住まいの確保」
への今後の取り組みは。

答 ①1名を高年齢障がい課、
2名を地域福祉課の担
当へ配置②コーディネート
ターを継続配置等③段階
の会議構成、統一シート活
用④地域包括支援センター
をバックアップ⑤居住支援
協議会準備会の立ち上げ等。



亀井 和美

市民の命を守ることが
一番

問 ①災害時、地域におけ
る「顔と顔の見える関
係」の取組②東日本大震災
で課題となった女性の視点
での取組とその結果③ロー
リングストック法に対する
市の認識④液体ミルクの認
識と備蓄品としての考え。

答 ①コミュニティ活動助成
金を利用し防災訓練等
実施②女性防災組織から防
災会議委員登用、備蓄用女
性衛生用品見直し、女性向
け防災冊子発行③効率性や
経費抑制を期待④常温でそ
のまま利用可、ローリングス

トック法を活用した備蓄検討。
ようこそ狛江市へ!
シティーセルスの発信

問 ①「知ってもらおう」訪
ねてもらおう」ための具
体的な取組とその成果②記
念撮影コーナー、更なるシ
ティセルスの推進の取り
組③人生の門出を祝うオリ
ジナル婚姻届の製作を!

答 ①観光大使やSNS等
による情報発信、新た
なイベント等。成果出てい
ると実感②掲載写真を紹介
したパンフレットを作成し
たい③狛江オリジナルの心
暖まる届出書を作り上げる。



佐々木 貴史

安全・安心なまちづくり
について

問 小さな子どもが公園内
の遊具などにより痛ま
しい事故の報道がある。子
どもは大人が考えつかない
想定外の行動をとったりす
る。公園内の見守りの体制
の構築は検討に値すると考
えるが見解を。

答 公園内遊具を管理する
に当たり、危険はリスク
とハザードに分類され、ハ
ザードは事故が起こる前に
取り除くことが必要。遊具
設計等に配慮・確認すると
ともに、利用に当たって看
板等による周知啓発が重要。

「健康づくりの日」の
制定を

問 健康づくりの日とい
うのを定めて、市民一人
ひとりが自分の健康と向き
合い、また意識を向上させ
市民の健康そして重症化し
ないように取り組み、それが
医療費の抑制にもつながる。
この市民要望への見解を。

答 「健康づくりの日」や
「健康づくり週間」な
どを設けて健康ポイント制
度も含めて関連事業を展開
することで、市民の健康増
進機運を高め、健康寿命延
伸にもつながるものと考え
るので調査・研究していく。



山本 暁子

豊かな環境を未来に繋ぐ
多様な命を守る取組とは

問 ①環境教育の意味②環
境を守る市民活動③市
民意識を高めるイベントと
は④生物多様性に対する市
の考え方⑤生物多様性保全
事業の今後⑥狛江市が目指
す姿と環境行政。

答 ①環境保全に貢献でき
る子供を育成②30を超
える団体を抱いていたたく
して関心を持っていただく
④自然環境を守る等の生物
多様性保全を進めることが
重要⑤体験型事業中心に実
施⑥環境に配慮した行動を
実践、先導的役割を果たす。

生まれ育った環境に左右
されない未来のために

問 ①生活実態調査を行う
べき②声なき貧困(サ
イレントプア)に伴走する
仕組み③子供の貧困対策に
おける課題④総合教育会議
の位置づけ⑤子供の貧困に
対し学校が果たす役割とは。

答 ①東京都の調査結果を
踏まえ検討②コミュニ
ティソーシャルワーカー配
置も今後の検討課題③相談
支援体制の充実、自立等支
援が重要④各自治体に設置
が義務づけられたもの⑤子
供の異変に気づき、支援に
つなげる。



吉野 芳子

市内全小中学生に実施の
心理テストに400万円

問 ①心理テストQ-Uの
目的と子どもにも傷つく
答えたくない等の負担は②
産学官連携の成果と課題③
保護者や子どもへのQ-Uの
理解④記名式だが業者の個
人情報管理は⑤検証のため
全教員にアンケートを。

答 ①現時点で負担の報告
はないが自尊心等から
拒否した場合早急に対応②
教員の研修充実。各部署が
協力し支援を行うこと③周
知を学校に指導④個人情報
保護方針に基づき管理⑤学
校の受けとめ方も適宜把握

「共生するまち」をつくる
ために理解者をふやす

問 ①生きつらさを抱える
人への市の認識②発達
障害者支援の体制整備とし
て都での相談等の実施や地
域協議会の設置を受け市で
行うこと③生きつらさへの
理解を行政や当事者と共に
地域で深める活動の必要性

答 ①人と人との繋がりが
希薄になっており、生
きづらくなっている。②発
達障がい等に対する切れ目
のない相談支援体制の構築
に向け検討中。③障がい等
に対する地域の理解者を増
やしていくことが大変重要。



太田 久美子

市民活動支援センターの
役割と活性化について

問 ①狛江市後期基本計画
に位置づけられた「市
民力」とは。②市民活動支
援センター設立の目的とそ
れを実現するために必要な
機能は。③市民力の掘り起
こしも大変重要だと思いが
今後の取り組みは。

答 ①地域の人材や団体等
が自ら活動し、地域の
課題解決や発展を目指すも
の②地域課題に取り組み団
体等の活動拠点として設立。
相談、マッチング等の機能を
有する③地域ニーズを収集
し、積極的に働きかけていく。

広域連携の推進(さらなる
シティーセルスの展開)

問 ①音楽の街を標榜する
川崎市と音楽事業でも
連携推進を。②消防団の近
隣への応援出動や合同訓練
等により消防団同士の連携
も必要と思うが市の考えは。
③多摩川流域の「水辺の楽
校」サミット開催の検討を。

答 ①川崎市の担当者や意
見交換を実施。狛江市
文化振興事業団と協力し音
楽の街を推進。②連携強化
により地域防災力向上が図
られる。③流域連携を生か
した催しは有用。